

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成25年10月18日(金) 5校時
 児 童 男子8名 女子10名 計18名
 指導者 小澤 真由美

- 1 単元名 くらべてよもう (光村1年下)
 教材名 じどう車くらべ

2 単元を貫く言語活動とその特徴

身に付けたい力	言語活動設定の理由
◎ 事柄の順序を考えながら内容の大体を読むことができる。(読イ) ○ 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(書イ)	① 単元を貫く言語活動 本単元では、身近な乗り物である自動車の、仕事やつくりがどのようなものであり、何のためのものかということを見て読むことにより、説明的な表現の仕方を身に付け、それを生かして自動車図鑑を作り、自動車自慢大会で紹介する言語活動を行う。 ② 言語活動の特徴 自動車についての説明的文章を読み取った力を活用して、市販されている図鑑から自動車の仕事とつくりを読み取ったり、事柄の順序を考えながら、自動車図鑑の説明を書いたりすることで、説明的文章の読み取りを確かなものにする活動である。
言語活動 ★ゴールとしての言語活動 ★学習したことを生かし、自分の選んだ自動車で自動車図鑑を作り、自動車自慢大会で紹介する。	③ 単元の目標の実現にどのように結びつくのか、 自分の好きな自動車の仕事をみんなに自慢したいという目的意識を持ち、自動車図鑑をつくる方法を学習していくことで、説明的文章を読む楽しさを味わいながら、文章の構成を理解し内容の大体を読み取ることができるようになっていくと考える。

3 単元について

(1) 児童について

児童は、これまで、二つの説明文を学習してきた。一つ目の「くちばし」では、問いと答えの繰り返しの文章を学習した。また、二つ目の「みいつけた」では、最初に問いがあって、その後それぞれの答えが書かれている構成の文章を学習した。これらの学習を通して、説明文には、問いの文と答えの文があり、順序良く書かれているということを捉えられるようになってきている。また、文末表現から問いの文を見つけることができるようになってきている。しかし、主語や文末に着目することで、何を説明しようとしている文なのかに気付くことのできる児童は多いとは言えない。

書くことに関しては、個人差が大きい。書くことに抵抗がなく、語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文を書けるようになってきている児童もいる反面、文字が抜けてしまったり、平仮名や片仮名の表記を間違えてしまったりするなど、書くことを苦手としている児童もいる。

児童の実態を知るために事前テストを行った。(9月11日実施 対象児童18名)

	項 目	◎	○	△
①	問いの文を見つけ、サイドラインを引く。	15		3
②	問いに対する答えの文を見つけ、サイドラインを引く。	10	5	3
③	説明文をもとに、図鑑の文章を書く。	4	8	6

(2) 教材について

学習指導要領第1学年及び第2学年における「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。

また、本単元に関わって読むことの重点は、指導事項イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」である。

本教材は、児童にとって身近な乗り物である自動車を取り上げた説明的な文章である。4つのまとまりからなり、第1のまとまりが話題と問題提示、第2～4のまとまりが問題に対する説明となっている。「しごと」と「つくり」の2つの問いがあるため、第2～4のまとまりは問いに対応して2段落に分けて書かれており、明確な文章構成になっている。また、「そのために」という接続語が「しごと」と「つくり」をつなぐ役割を果たしている。さらに3種類の自動車について、「しごと」と「つくり」が同じ順序で繰り返し説明されている。そのため、事柄の順序を考えながら読み進めたり、自分でも調べたり表現したりする学習活動に適した教材であると言える。

(3) 指導について

本教材の指導にあたって、次のような点に留意していきたい。

- ① 興味・関心を持たせるために、自動車図鑑や絵本を学級文庫に準備する。
- ② 好きな自動車の図鑑を作って、自動車自慢大会をするという目的意識を持たせ、興味を持って学習に取り組むようにさせる。
- ③ 問いの文と答えの文を関連付けて読ませるとともに、事柄の順序や文末表現に気をつけ仕事とつくりが見つけられるようにさせる。
- ④ 「そのために」という接続語に注意して読ませる。「そのしごとをするために」という言葉を補うことで使い方をとらえさせ、自分で文を書くときにも使えるようにさせていく。
- ⑤ 言葉だけでは十分に理解できない面については、動作化させたり挿絵や模型等で確認したりして理解を深めていく。
- ⑥ バスや乗用車、トラック、クレーン車の説明の文を比べ、どれも仕事とつくりの順に書かれていること、「そのために」という言葉でつながれていることに気付かせる。
- ⑦ 実際の図鑑の見方を授業に取り入れ、自分の好きな自動車で図鑑作りをする際に困らないよう図鑑の見方を練習させる。
- ⑧ 自己評価を取り入れ学習を振り返る場を設定し、達成感を持たせる。
- ⑨ 単元の学習計画を提示し、見通しを持って学習できるようにさせる。

4 単元の位置付け

〈 1年 〉

くちばし

- ・ 問いと答えが3回繰り返されている文章を読む。



みいつけた

- ・ 最初に問い、次にそれぞれの答えがかかれています文章を読む。



じどう車くらべ

- ・ 事柄の順序に沿って、比べながら読む。
- ・ 二つの問いの後にそれぞれの答えが書かれた文章を読む。



どうぶつのあかちゃん

- ・ 対比して、違いを比べながら読む。
- ・ 二つの問いの後にそれぞれの答えが書かれた文章を読む。

〈 2年 〉

たんぼぼのちえ



どうぶつ園のじゅうい

- ・ 時間の順序や事柄の順序を考えながら読み、感想をまとめる。



しかけカードの作り方

- ・ おもちゃの作り方
- ・ おにごっこ

5 単元の目標

【関心・意欲・態度】

- ・ いろいろな乗り物に関心を持ち、進んで絵本や図鑑を読もうとする。

【書くこと】

- ・ 教科書の文を参考にして簡単な組み立てを考え、好きな自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書くことができる。 (書イ)

【読むこと】

- ・ 自動車について、「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読むことができる。 (読イ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・ 片仮名で書く語を、読んだり書いたりすることができる。 (伝国(1)ウ (ア))

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・色々な自動車に関する情報を得るために、自動車について説明した本を進んで読もうとしている。	・説明する順序を考え、「そのために」という言葉を使って、自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文を書いている。	・自動車の「しごと」と「つくり」の関係や順序を考えながら内容の大体を読むことができている。	・片仮名で表記することのできる自動車の名称を正しく読んだり書いたりしている。

7 指導計画（全12時間）

次	時	指導目標	ゴールに向かうための言語活動	評価規準（*評価方法）
第1次	1	・単元のゴールの姿を知り、学習の見通しをもつとともに、「じどう車ずかん」を作ることに関心をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車図鑑の完成品のイメージを持ち、ゴールを確認する。 ・教材文を読み、問いの文を見つけてサイドラインを引く。 ・新出漢字や片仮名の読み書きを練習する。 	<p>【関】自動車図鑑の作り方の大体が分かり、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>【読】文末表現から問いの文を見つけている。</p> <p>【言】片仮名と新出漢字の読み書きが正しくできている。</p> <p>（*発言、学習シート）</p>
第2次	2	・バスや乗用車は、人を乗せて運ぶ「しごと」に合った「つくり」になっていることを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」と「つくり」にサイドラインを引き、視写する。 ・「そのために」という接続語の役割について話し合う。 	<p>【読】バスや乗用車の「しごと」と「つくり」にサイドラインを引いたり、正しく視写したりしている。</p> <p>（*教科書、学習シート）</p>
	3	・トラックは、荷物を運ぶ「しごと」に合った「つくり」になっていることを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」と「つくり」にサイドラインを引き、視写する。 ・バスや乗用車の「しごと」と「つくり」と比較する。 	<p>【読】トラックの「しごと」と「つくり」にサイドラインを引いたり、正しく視写したりしている。</p> <p>（*教科書、学習シート）</p>
	4	・クレーン車は、重いものをつり上げる「しごと」に合った「つくり」になっていることを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」と「つくり」についてサイドラインを引き、視写する。 ・バスや乗用車、トラックの「しごと」と「つくり」と比較する。 ・3つの自動車の書かれ方を比較する。 	<p>【読】クレーン車の「しごと」と「つくり」にサイドラインを引いたり、正しく視写したりしている。</p> <p>（*教科書、学習シート）</p>

第3次	5 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・図鑑を読んで、はしご車の「しごと」と「つくり」をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図鑑からはしご車の「しごと」と「つくり」を読み取り、説明する文を書く。 	<p>【読】はしご車の「しごと」と「つくり」をとらえている。 (*学習シート)</p>
	6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな自動車を選び、「しごと」と「つくり」を対応させながら説明文を書き、自動車図鑑を作ることができる。 ・書きためた自動車についての説明文をまとめ、1冊の自動車図鑑にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ自動車について、「しごと」と「つくり」を対応させながら説明文を書く。 ・書いたものを読み返し、間違いなどに気付き、正す。 ・表紙等を書いて、自動車図鑑を完成させる。 	<p>【書】好きな自動車の説明文を、「しごと」や「つくり」を対応させながら書いている。 【書】文章を読み返し、間違いなどに気付き、正している。 (*自動車図鑑)</p>
	11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した図鑑を友達に紹介し、交流することができる。 ・単元の振り返りをし、学習の成果を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が書いたものを友達と交流する。 ・学習を振り返り、よくできたところや大変だったところを確かめる。 	<p>【書】友達の間鑑を読み、初めて知ったことやいいなと思ったことなどを書いている。 (*感想カード)</p>

8 本時の指導

(1) 目標

はしご車の「しごと」と「つくり」をとらえることができる。

(2) 提案したいこと

- ・前時までの学習を生かし、自動車の図鑑を見て「しごと」と「つくり」を調べる練習をすれば、次時からの図鑑作りに必要な力が付くのではないかな。
- ・仕事とつくりが書けているかを自己評価させることで、自動車図鑑に必要な内容が明確に理解できるのではないかな。

(3) 展開

段階	学習内容・活動 (○主な発問、指示 ・予想される児童の反応)	指導上の留意点 (*評価 △支援を要する児童への手立て)
つかむ	<p>1 単元のゴールを確かめ、今日はそのために練習することを知る。</p> <p>○自動車図鑑を作り、自動車自慢大会をするのでしたね。今日ははしご車の仕事とつくりを調べて書きましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車図鑑を作ること確かめ、意欲をもたせる。
5分	<p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <p>○今日学習する車は何ですか。</p> <p>・はしご車です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はしご車の挿絵の提示 ・本時ははしご車の「しごと」と「つくり」を調べ、文を書くことを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> はしご車の しごとと つくりを しらべよう。 </div>		

<p style="writing-mode: vertical-rl;">ふかめる</p>	<p>3 学習の見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>① 「しごと」をしらべる。 ② 「つくり」をしらべる。 ③ ずかんをつくる。</p> </div> <p>○今日は、はしご車の仕事とつくりが書けたら花丸です。</p> <p>4 はしご車の説明の文を探す。</p> <p>(1) はしご車の仕事について考える。</p> <p>○はしご車はどんな仕事をしているか、書いてあるところを探しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事の時に働きます。 ・高いところにいる人を助けます。 <p>(2) はしご車のつくりについて考える。</p> <p>○はしご車はどんなつくりになっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長いはしごがあります。 ・あしが付いています。 ・上に人が乗るところがあります。 ・はしごが伸びたり縮んだりします。 <p>○はしご車の仕事に一番大切だと思うつくりは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長いはしごです。 ・はしごが伸びたり縮んだりすることです。 <p>(3) はしご車の説明の文を書く。</p> <p>○はしご車の説明の文を書きましょう。これまでに学習した自動車はどのように書かれていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～しごとをしています」と書かれていました。 ・仕事の後につくりが書かれていました。 ・「そのために」と書かれていました。 <p>○仕事、つくりの順にはしご車の説明の文を書きましょう。</p> <p>5 書いたものを音読する。</p> <p>○出来上がった文を読んでみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学び方を定着させるため、確認する。 ・ 自己評価のポイントを最初に提示する。 ・ たくさんの情報の中から、はしご車の仕事について書かれている部分を探す。 ・ これまで同様、仕事の部分に赤鉛筆で印を付けさせる。 <p>△「しごとをしています」という文で書かれていない場合もあることを伝え、一つ一つの文を確かめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここでは、仕事と関係ないつくりについても認めていく。 <p>△挿絵をよく見て他の自動車と違うところを考えさせ、それが書かれた文章を探させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事に一番大切だと思うつくりを考えさせる。 ・ 自分が図鑑に載せたいつくりを青鉛筆で印を付けさせる。 ・ 前時までに学習した文型を生かして文を考えさせる。 ・ そのためにという言葉を使うようにさせる。 <p>△ 仕事、つくり (赤・青) の順番に書けばよいことに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>*はしご車の説明を仕事とつくりに分けて書いている。(ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何人か指名し、説明の文を読ませる。
<p style="writing-mode: vertical-rl;">まとめる</p>	<p>6 前時までの学習を生かせば、自分でも自動車図鑑が作れることを確認し、本時のまとめをする。</p> <p>○はしご車の仕事とつくりが書けましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑で調べる時には、仕事を探し、そのために大切なつくりを探せばよいことを確認する。 ・ 図鑑を書くときには学習した文型を使えばよいことを確認する。 ・ 振り返りシートを使って自己評価させる。

35分

5分	<p>7 次時の学習内容を確認する。</p> <p>○次の時間は、自分が選んだ自動車についての説明の文を書き、自動車図鑑を作っていきます。</p>	<p>・自分が選んだ好きな自動車で、自動車図鑑を作っていくことを確認する。</p>
----	---	---

(4) 板書計画

じよう車くろん

はしご車の しごとと しぐりを しぶんぶ。

はしご車の 図鑑

しごと

- ・かじのときはたらく
- ・たかいところにいる人をたすける。

つくり

- ・ながいはしご
- ・じようぶなあし
- ・バスケット

はしご車は、かじのとき、
たかいところにいる人を
たすけるしごとをしています。
そのためながいはしごが
ついています。

第3次			第2次			第1次	次
12	11	10 ~ 6	5	4	3	2	1
<ul style="list-style-type: none"> ・自動車自慢大会で、自動車図鑑をもとに、仕事とつくりを発表する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・図鑑を見て、仕事とつくりを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・じどう車くらゐの説明文は、「仕事」、「そのために」、「つくり」の順に書かれていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックの説明文から、仕事とつくりを読み取る。 ・バスや乗用車と同じ文章構成だと知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスや乗用車の説明文から、仕事とつくりを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しを持つ。
<ul style="list-style-type: none"> ・「自動車自慢大会」を開き、自分の作った図鑑を発表したり、友達の作った図鑑の発表を聞いたりすることを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに学習したことを生かし、図鑑からはじめる車の仕事とつくりを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに学習したことを生かし、重いものをつり上げる仕事に合ったつくりになっていることを読み取る。 ・どの自動車も同じような順序で書かれていることに気付く。 ・クレーン車の仕事とつくりを視写する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックの仕事とつくりを視写する。 ・トラックの説明文を読み、荷物を運ぶ「しごと」に合った「つくり」になっていることを読み取る。 ・バスや乗用車と同じような書かれ方をしていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスや乗用車の説明文を読み、人を乗せて運ぶ「しごと」に合った「つくり」になっていることを読み取る。 ・「そのために」という接続語の役割を知る。 ・バスや乗用車の仕事とつくりを視写する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を確認し、単元の終わりには、自分の好きな自動車で図鑑を作り、自動車自慢大会をすることを確認する。 ・教科書の本文を読み、問いの文を見つける。 ・新出漢字や片仮名の読み書きを練習し、使えるようになる。

ゴールに向かうための言語活動